

南相馬ソーラー・アグリパークに係る見学・体験学習プログラム

作成推進校		福島県立ふたば未来学園高等学校
対象児童・生徒		高校生
事前学習	計画	福島県は 2040 年に県内エネルギー需要の 100%相当量を再生可能エネルギーで 生み出すことを目標としているが、再生可能エネルギーは手段であり、どんなことを掛け算し、自分たちが実行すれば、新しい価値を生み出すことができるかを考える。
	期待できる成果	エネルギー問題を自分たちに直結する問題であることを意識付けることができる。地方と大都市、日本と世界のエネルギーの需要と供給など、幅広い視点を持つことができる。 新しい発想を思考することにより、創造力が磨かれる。
見学・体験学習	計画	太陽光発電の仕組みを詳しく学習することができる。 太陽光パネルの位置と角度によって、発電量が変化することを体験することができる。 作った電気で、野菜工場を稼動することができることを学習することができる。
	期待できる成果	高校物理において教科書でしか学ぶことのできない「光電効果」の実体験ができる。高校化学を超えた s p 混成軌道にも触れることができる。
事後学習	計画	総合的な学習の時間の探究に取り入れる。 見学して学習したことをまとめて、探究に活かすことができる。
	期待できる成果	見学・体験したことを基に、新しい発想で持続可能なエネルギーを模索することができる。 体験学習をしてきた生徒が探究を深めて復興に貢献する。さらに、その姿を見た周囲や下級生が、自分も挑戦するようになる。